
漆黒の気持ち

三谷コウタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

漆黒の気持ち

【コード】

N3281P

【作者名】

三谷コウタ

【あらすじ】

いつも近くにいる『いじめられっこ』彼はこんな気持ちなんだよ。

(前書き)

あなたも遭ったことがある『いじめられっ子』の気持ちです。

僕は、生まれたときから嫌われ者。
なぜかみんなに嫌われる。

僕はただ、普通に過ごしてるだけなのに。
お弁当を食べるのにもひと苦労。
誰にも見つからないように食べないと、みんなが僕をいじめにく
る。

時にはトイレの中で食べるときもある。
履き物や丸めた新聞紙で、僕をめった打ちにしようとする。
なんで僕はこんなに嫌われるの？

ひどいときはスプレーを吹きかけられる。
スプレーでいじめて来るのは女の子が多い。
僕に近づきたくないといって、遠くからスプレーで攻撃してくる。
なんでそこまでするの？

なんで僕はこんなに嫌われるの？
みんなと同じように過ごしちゃいけないの？
今日もいまからお弁当を食べる。
みんなに見つからないような場所で食べないと。
今日のお弁当は何かな？

パンかなお米かな？
『ママ』がつくつたお料理はおいしい。
木の廊下を進んで、いつも開け放してある扉に入る。
中は真っ暗だった。

まあ、いいや。
お弁当。お弁当。

あっ！ 急に明るくなった。
あっ！ みつかちゃった。

叫び声が聞こえる。

そんなに僕が嫌なんだ。

ああ、どうしよう。

逃げないと！ 逃げないと！

あつ！ 今日は新聞紙でいじめる気だ。

どうしよう！ どうしよう！

後ろから来た。

ああ、もう駄目だ。

今日は、逃げ切れない。

僕は思い切り新聞紙で殴られた。

こんなに強く殴られたのははじめてだ。

いたい。いたいよ。

意識が薄れて行く。

最後に、いじめっこの声が遠くから聞こえた。

「ママー！ ゴキブリやっつけたあー！」

(後書き)

ふっと思いついたので書きました。可哀想な生き物ですよ。最後まで読んでくれてありがとうございます。よかったら感想ください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3281p/>

漆黒の気持ち

2010年12月5日18時56分発行